

グラスルーツからの日米関係強化に関する
政府タスクフォース（各地各様のアプローチ）
第2回フォローアップ会合 議事要旨

1. 開催日時 : 平成30年6月13日（水）10時30分～11時00分
2. 開催場所 : 官邸3階南会議室
3. 概要

（1）本会合では、昨年7月の第3回会合において取りまとめられた「行動計画」を踏まえて実施された平成29年度の具体的な取組について報告がありました。その後、出席者の間で、各々の省庁・機関が計画している今年度の取組の方向性について議論が行われました。

（2）最後に、西村康稔内閣官房副長官は、総括として次の点を挙げました。

- ア 平成29年度には、報告されただけでも221件もの事業が米国各地において行われ、経済・文化など様々なイベントや日本庭園の整備など、工夫のある、地域の特徴に応じた『テイラー・メイド』のアプローチがとられ、77万5千人、約80万人の市井の米国の方々の参加を得ており、各在米公館や各省、JETRO、国際交流基金の取組が着実に根付いていることが分かりました。
- イ 平成29年度の取組は大変勇気付けられるものですが、今年度は、さらに、予算面双方における一層の増強を踏まえ、内容面・予算面でも更なる取組が始まっています。ロサンゼルスにおけるジャパンハウスの全館開館などとも連動し、より多くの地域で取組を展開していくことも含め、グラスルーツの事業をより効果的かつ持続的に進めていくことの重要性を念頭に置くべきとの考えを新たにしました。
- ウ 政府としては、グラスルーツにおける取組が、我が国と米国との絆と現代日本への理解を深めるに当たって非常に有効なツールであるとの考えの下、これらの取組を更に力強く推し進めるべく、引き続きしっかりとした予算と体制を確保し、各省庁・機関が、これ以降も重層的な取組を展開することを期待します。